

不安払拭！就活スケジュール ～今後の動き方～

こんにちは！

チーム「関東居住者」です！

就活生の皆さんこんにちは！いかがお過ごしですか。大学なども始まり、いよいよ秋を感じる時期に入ってきました。さて、今回の記事は2025年卒内定者5名に就活当時のスケジュールを聞いてみました。就職活動を行う中で、自分のスケジュールや動き方に不安を覚えることも増えると思います。そこで、是非1年先に就職活動を経験した内定者のスケジュールや動き方を見て、今後の参考にしてみてください。



Sさんの就活スケジュール

10月時点までの動き：

私は大学3年生の5月後半に参加した合同説明会をきっかけに、就職活動を始めました。当時から志望業界が決まっていたわけではなく、まずは幅広い業界をみようと考えていました。振り返ると5月、6月前半は興味ある業界を探すことに最も力を入れていたと思います。そこから夏にかけて興味を持った業界を見つけては応募し、7月～9月にかけて8つの業界のインターンシップやイベントに参加しました。夏季2か月の間に、インターンシップで実際の業務を体験したりイベントでより詳しくお話を聞く中で、自分に合う業界とそうではない業界をしっかりと分けていくことができたのは、今振り返るととても良かったです。

10月以降の動き：

10月以降は、夏に参加したインターンシップやイベントをもとに、業界を絞っていく作業を行っていました。また、夏を経て興味をさらに持った業界の中で、どの企業を志望していくのかについて考え始めたのもこの時期でした。ですので、10月は自分の中でかなり悩んだ期間だといえます。それから迎えた11月から1月までの3か月間は、より詳しく知りたいと思った企業のインターンシップやイベントに応募し、参加しました。ここで得た情報は、本選考で応募する企業を決める上でとても重要なものになったので、読んでいただいている就活生の皆さんも是非この時期を大切にしてもらいたいと思っています。秋・冬インターンシップを終えた2月後半には、いよいよ志望業界と志望企業を絞り、3月の本選考に向けて準備を始めました。エントリーシートもそれぞれ締切がバラバラでしたが、必ず1週間前には提出できるよう心がけていました。やはりネットの不調や後から気づく誤字・脱字があるので、就活生の皆さんも是非1週間前を目途に準備すると心の余裕ができると思います。そして迎えた本選考で、志望した企業の選考を受け、最終的に三菱UFJ信託銀行に入社を決めるに至りました。

Mさんの就活スケジュール

10月時点までの動き：

私は6月半ばから少しずつ企業説明会への参加を始めました。開始当初は志望業界が決まっていなかったため、聞いたことがある名前の会社のマイページをとりあえず登録してみる、というように手探りで進めていました。しかし、あまり対策していないにも関わらず大手ばかりエントリーしていたため、夏インターンシップはあまり参加することができませんでした。

10月以降の動き：

第三者の目線から定期的にエントリーシートを添削してもらいながら、秋・冬インターンシップへのエントリーと志望度の高い企業の社員訪問を始めました。インターンシップの選考に関しては、夏よりも書類通過率は高くなり、面接の経験を少しずつ積むことができるようになっていきました。この時期からある程度就活の軸が定まってきたので就職活動に対して前向きになってきたように思います。また、社員訪問に関しては志望度の高い企業は案内されたと同時に訪問を始めていました。業務内容や選考対策だけでなく、様々な人の価値観に触れられたことが個人的にとっても大きかったです。本選考が始まると、本格的に忙しくなりました。面接は1日1つ、できるだけ朝一番の枠で受けるようにしていました。また、あまり練習はせずに「会話」を意識していました。本選考が進む中で、三菱UFJ信託銀行の内々定をいただき、その後残っている選考を受け6月末に就職活動を終わりました。



Tさんの就活スケジュール

10月時点までの動き：

5月半ばから企業説明会に参加し、本格的に就職活動を始めました。当初は夢や目標が明確ではなかったため、知名度のある大企業を中心に幅広くエントリーシートを提出していました。しかし、エントリーシートの修正に時間を取られてしまい面接練習にまで手が回らず、結果として選考を突破できた企業は少なかったです。今振り返ると、もっと早い段階から面接練習に力を入れるべきだったと感じています。

夏休みには、夏インターンシップに参加しつつ、これまでの選考を振り返る機会を持ちました。どの選考段階で落ちているのかが明確になったため、秋以降の就職活動では弱点（私の場合は面接）に絞って対策を行うことができました。

10月以降の動き：

10月以降は、夏インターンシップに参加したいくつかの業界の中から、自分に合っていると感じた3つの業界まで絞りました。また、秋・冬インターンシップに向けて、夏インターンシップでの取り組み方を反省し、エントリーシートの添削や面接練習を第三者にお願いしました。その結果、秋・冬インターンシップでは、夏に比べて選考通過率が大幅に向上しました。冬インターンシップ後は、志望企業を第一志望群、第二志望群、第三志望群に分け、優先順位に基づいて対策に割く時間を調整しました。特に、第一志望群の企業に対しては、面接練習やOB訪問の時間を多く取り、対策を進めました。多くの企業の選考を経て最終的に第一志望であった三菱UFJ信託銀行への入社を決めました。



Kさんの就活スケジュール

10月時点までの動き：

私は、3年生の4～5月から合同説明会や企業説明会に参加し始めました。当初はどのような業界があるのか、それぞれの業界の特徴など分からないことだらけだったので、短時間で幅広い業界の大まかな特徴を知ることができたという意味で合同説明会は非常に有意義でした。6～7月は夏インターンシップに力を入れ、学業や課外活動の両立に難しさを感じながらも、できるだけ多くの企業に応募しました。応募した企業のうち、実際に参加できた割合はそれほど高くありませんでしたが、様々なエントリーシートの質問に対する回答を考えることができたことは、後々の本選考でも役立つよい経験でした。夏インターンシップに実際に参加する中では、業務内容だけでなく、会社の雰囲気も体感できたことは志望する会社を絞る過程で私にとって重要な要素でした。

10月以降までの動き：

10～12月の時期は、夏インターンシップで興味を持った業界・企業を中心に応募しつつ、視野を広げるために自分の理解が浅かった業界の説明会にも参加しました。そうすることで、自分の志望する業界に対する納得感が得られやすいと思います。年末には、初めてOB・OG訪問をしました。年明けは、OB・OG訪問のアポイントが取りにくくなるほか、大学の試験、本選考のエントリーシート作成、企業研究等するべきことが増えて忙しくなると思うので、個人的には年内に始めるのがいいと思います。私の場合、年明けから冬のインターンシップ等選考が始まったのですが、その頃は面接での緊張や選考結果に気持ちが追いつめられてしまった時期でした。忙しい時期ではありますが、休日に友人や家族と出掛ける時間を設けて、意識的にリフレッシュするように心掛けていました。就職活動解禁の3月1日以降は、怒涛のエントリーシート締切と面接ラッシュでした。面接では、上手く答えられなかった質問を次の面接ではしっかりと話せるように準備をし、回数を重ねるごとにスムーズな受け答えができるようになったイメージです。そして選考が進む中で、三菱UFJ信託銀行の内々定をいただき、就職活動を終えました。

Yさんの就活スケジュール

10月時点までの動き：

私は大学3年の6月から就職活動を始めました。志望業界を絞らずに、まずは幅広い業界をみようと考えて、興味のある説明会やインターンシップに応募しました。6月と7月はインターンシップの選考に注力して、興味ある業界を見つけることを目標にしていました。そこから8月から10月まで参加できる夏の説明会やインターンシップをこなしながら、自己分析と業界研究を進めていきました。夏の期間を通じて選考対策や企業理解を深められたことが私にとって良かったことだと思います。私が金融業界を中心に志望することにしたきっかけも、夏インターンシップで社員さんの話をたくさん聞くことができたからでした。

10月以降までの動き：

10月以降は、金融業界を中心に対策するようになりました。この時の自分の就活の軸は、「お金の側面で顧客と中長期的に伴走できる仕事をしたい」だったので、金融業界の中でも銀行、信託、カード業界の会社を考えるようになりました。そして11月から2月までは、夏インターンシップの経験を活かして秋・冬インターンシップやOB訪問、早期選考に参加しました。特にOB訪問を私は重視しました。志望度が高い会社では5人以上の社員さんとお話をさせてもらい、志望理由の厚みを持たせることができました。2月は大学が春休みに入るのと同時にインターンシップや本選考が少ないことが原因で中だるみしやすい時期だったので、3月の本選考に向けてOB訪問の数を増やすなどをして準備を整えました。3月は本選考の締切が多かったので、エクセルを活用して余裕を持って選考に応募できる状況を作りました。そして、本選考が進む中で、三菱UFJ信託銀行から内々定をいただくことができ、入社を決めました。

最後に

就活生の皆さん、最後まで記事を読んでいただきありがとうございます。2025年卒内定者の就活スケジュールはいかがだったでしょうか。

少しでも今後の参考になるような情報や、今ある不安・懸念を解消することにつながっていればうれしいです。

さて、最後にお知らせですが、次回のブログ配信でも今回同様2本の新しい記事を配信しますので、ぜひ記事を楽しみにしてください！

では、また次の記事でお会いしましょう！